

2-2

「読解力」&各教科学力の 測定問題の設計と実施結果

(株)ベネッセコーポレーション 小中学校事業部 小沢 香里

はじめに

本節では、今回の調査で実施した「読解力」測定問題と、後章で「読解力」とのクロス分析の対象となる教科学力の測定問題の出題内容ならびに実施結果の概要を報告する。

1 「読解力」問題の作成と実施結果

1 「読解力」問題の作成方針

「読解力」の問題作成にあたっては、PISAで行われた「情報の取り出し」「解釈」「熟考・評価」の3観点を設定して、それぞれの観点到に応じた問題構成を行っている。

「情報の取り出し」では、テキスト(ここでは文章のみならず図表やグラフなど、さまざまな素材を意味する)から内容を正確に読み取ることができるか、「解釈」ではテキストの内容をもとに推論しながら内容を理解することができるか、「熟考・評価」ではテキストの目的を考えながら、自分の考えをテキストの内容を根拠に説明することができるか、といった視点で出題している。単に自分の意見を述べるだけではなく、必ずそのように考

える「理由」を述べさせ、根拠を持った論理的思考ができるかを測ることを目的としている。

素材選定にあたっては、文章(連続テキスト)だけに限らず、図表やグラフなどさまざまな素材(非連続テキスト)を選んでいる。また、今回は教科の調査とは別の枠組で調査問題を構成したため、知識によって結果に差が出ることを避け、できるだけ教科の学習内容に直接的に関係のない初見の素材となるよう工夫している。

なお、今回の調査では、学年による解答傾向の違いを測定するために、小5、中2を対象に、両学年とも全く同じ問題で実施した。

2 実施結果

以下に、実施結果を示す。次ページに、まず、今回の問題の通過率の度数分布のグラフと平均到達度を一覧にしている。これに続いて、次のページから各問題別に、問題そのものの紹介と合わせて、実施結果の詳細を示している。なお、「平均到達度」と「通過率」の用語の意味については、次の<説明>で確認していただきたい。

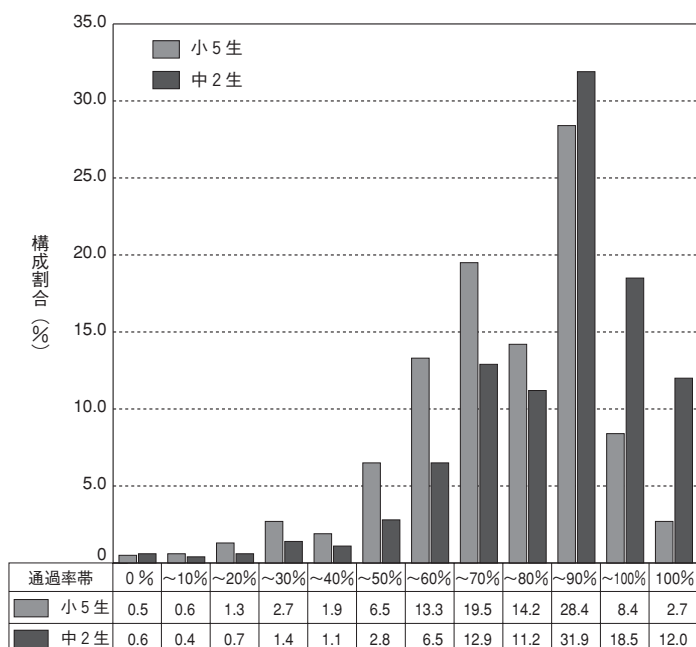
<用語の説明>

※平均到達度…その集団における児童生徒の到達度(=その児童生徒が通過した問題数の割合をパーセントで示したもの)を平均した数値のことである(100点満点として考えた時の「平均点」と同じ意味を持つ)。

※通過率……その問題の評価の観点から見て「満足できる」解答であった場合を「正答」とし、「おおむね満足」できる解答であった場合を「準正答」とする。その児童生徒の解答が正答または準正答である場合、その児童生徒はその問題を通過したとする。その集団において、その設問を通過した児童生徒の割合をパーセントで示したもの。

① 全体概要

■度数分布



■平均到達度

		小5	中2	中一小
「読解力」全体		71.0	79.9	8.9
観点	情報の取り出し	62.5	74.8	12.3
	解釈	80.2	85.8	5.6
	熟考・評価	72.7	79.8	7.1

■分析

「読解力」全体は小5が71.0%、中2が79.9%で、中2が8.9ポイント上回っている。

観点別に見ると、どの観点も中2が上回っている。「情報の取り出し」は中2が12.3ポイントと大きく上回っている。「解釈」「熟考・評価」は中2が5~7ポイント上回っているものの、小5でも平均到達度は70%を上回っており、学年間の平均到達度の差はそれほど大きくない。

② 設問別分析

■ 次の文章はある日の新聞記事です。

タイトル

12月1日、早稲穂、日本海側を中心に各地を襲った大雪の影響で、野菜の生産が急激に減産となり、値上がりしている。1克1日付に農林水産省が発表した野菜生産量の調査結果によると、キャベツ1キロあたりが昨年に対して1.5割増の255円、ホウレンソウが1.4割増の234円、レタスが1.3割増の218円となっている。

特に関東地方の各地でキャベツやレタスの生産が滞り、出荷量が減りつつある。とくに値上がりが続くと考えられるため、農林水産省は、今後とも調査ごとに生産量を調査し、この値上げに配慮してさらに値上げが起きることを警戒している。

野菜	単位	値上がり率
キャベツ	1キロ	1.5割増
ホウレンソウ	1キロ	1.4割増
レタス	1キロ	1.3割増
ピーマン	1キロ	1.2割増
キュウリ	1キロ	1.1割増
トマト	1キロ	1.0割増
パプリカ	1キロ	0.9割増
ナス	1キロ	0.8割増
ピーマン	1キロ	0.7割増
ピーマン	1キロ	0.6割増
ピーマン	1キロ	0.5割増

【備考】1キロは1000グラム、値上がり率は平均での値増。

※各産地・産地別の相場については各産地の産地別相場を参照してください。

1) 調査を行った産地の野菜のうち、最も値上がり率の高い野菜と、1キロあたりあたり価格を算出しよう。

2) 様々な野菜が値上がりしたのはなぜですか、その理由を書きましよう。

3) あなたなら、この新聞記事にどのようなタイトルを付けますか、また、そのように考えた理由を書きましよう。

4) この表をもっとわかりやすくするために、どのように工夫すればいいですか、そのように考えた理由を書きましよう。

■出題意図

文章と表から内容を正確に読み取り、新聞記事という目的にあったタイトルや表の活用方法を文章中の内容を根拠に考えることができるかを見る問題である。

■設問別解答状況

問題番号		出題内容	観点設定			通過率			無解答率		
大問	小問		取 情 報 の 出 し	解 釈	熟 考 ・ 評 価	小5	中2	中一・小	小5	中2	中一・小
1	1	表の読み取り	●			73.9	82.3	8.5	1.0	1.5	0.5
1	2	文章の読み取り	●	●		94.0	96.0	2.0	1.9	1.7	0.2
1	3	文脈に即したタイトル付け(タイトル)		●		91.8	92.2	0.4	2.7	4.2	1.4
1	3	文脈に即したタイトル付け(理由)		●		88.0	88.1	0.2	4.0	5.5	1.5
1	4	文脈に即した表の工夫(工夫)			●	65.2	74.5	9.3	8.6	9.5	0.9
1	4	文脈に即した表の工夫(理由)			●	72.3	77.2	4.9	9.6	10.3	0.7

■分析

表から値上がり率と価格を読み取る問題(小問1)では、小5よりも中2が8.5ポイント上回っている。表から最も値上がり率の高い野菜を読み取るという単純な表の読み取りであるが、小5では約3割、中2でも約2割の生徒が不正解となっている。

小5、中2ともに表の工夫を考える問題(小問4)の通過率が小問1の中で最も低く、小5が65.2%、中2が74.5%となっている。学年間の差も9.3ポイントと最も大きい。しかし、表の工夫の「理由」を答える問題(小問4)では、学年間の差は4.9ポイントで、「工夫」を答える問題よりも差が小さい。「タイトル」を付け、その「理由」を答える問題(小問3)では小5、中2ともに通過率が約90%と高い結果となっており、学年間の差もない。

■ たろろさんは、料理を学ぶ過程にはコロッケを作らなくてはいい、材料と分量をメモで残りました。材料と作り方は次のようになっていました。

＜材料(2人分)＞	
玉ねぎ	1個
じゃがいも	2個
ブタひき肉	60g
パン粉	小さじ1
塩・こしょう	適量
【にらも】	
小麦粉	適量
卵	1個
パン粉	適量
揚げ油	適量

＜作り方＞

- ① 玉ねぎは皮をむき、みじん切りにする。
- ② フライパンにパン粉を熱し、①の玉ねぎをいため、玉ねぎが透明になったら、ブタひき肉を加えてさらにいため、塩・こしょうをする。
- ③ じゃがいもは皮をむいて4等分に切り、水に入れ、水からゆで始める。
- ④ ②のじゃがいもがゆで上がった時、湯を捨て、油に揚げたまま水分を拭き取り、すぐに小麦粉を軽くまぶす。
- ⑤ 湯のじゃがいもに②を加え、混ぜ合わせる。
- ⑥ ④でできた具を4等分して、平に広げて厚さ1、5センチ程度の楕円形に形を整える。
- ⑦ 塩こしょう、卵、パン粉の順にころもをつけ、揚げあげる。

(1) たろろさんの家は4人家族です。玉ねぎとじゃがいもはどれだけの量ですか。

(2) コロッケを作る時、塩・こしょうは何量目にフライパンに入れますか。

(3) コロッケの具ができておけるのは、アからパンですが、なぜですか。

(4) 作り方で失敗しないためには、④の段階にどういうことを確認しなければならないポイントを書きましょう。

■出題意図

レシピから必要となる材料や分量を正しく計算することや、料理の手順を正確に理解し、具体的な調理場面を思い浮かべながら読み進めることで、順序立てて物事を考えることができるかどうかを見る問題である。

■設問別解答状況

問題番号		出題内容	観点設定			通過率			無解答率		
大問	小問		取 情 報 出 し	解 釈	熟 考 ・ 評 価	小5	中2	中一・小	小5	中2	中一・小
2	1	表の読み取りと量の計算(たまねぎ)		●		66.0	82.7	16.7	0.7	1.0	0.3
2	1	表の読み取りと量の計算(じゃがいも)	●			79.6	90.5	11.0	0.6	0.8	0.3
2	2	文章の読み取り	●			17.2	41.6	24.4	0.6	1.1	0.5
2	3	文章の読み取り	●	●		54.5	64.5	10.0	1.5	1.7	0.2
2	4	文章の工夫・改善			●	70.2	76.3	6.1	9.8	12.8	3.0

■分析

4つの大問のうち最も学年間の差が大きかった問題である。本問は料理をするという経験知が結果に影響していることも少なからず考えられるが、問題文にあるレシピをていねいに読み進めれば解答可能な問題となっている。

料理の手順を考えながら塩・こしょうを入れる順番を答える問題(小問2)は小5、中2ともに全設問中で通過率が最も低く、小5は17.2%、中2は41.6%となっている。学年間の差も全設問中最も大きく、24.4ポイントとなっている。また、コロッケの具が最終的にフライパンか鍋のどちらにあるかを答える問題(小問3)も通過率が小5は54.5%、中2は64.5%と他の問題と比較してやや低い。どちらの問題も「作り方」を正確に読み取ると同時に作業をイメージする力を要する問題である。

■ 次の資料1のグラフは、1700年から1850年までの、米の生産量(石高)と耕地面積の変化を表しています。また、資料2の文は、1700年から1850年ごろの農業の様子を、それまでの時代と比べて説明したものです。

資料1 米の生産量(石高)と耕地面積

資料2 1700年から1850年ごろの農業の様子

- それまでは何一工夫を凝らさず肥料とすることが多かったが、このころになると牛糞(いんしを糞にすして作った肥料)など、より効果の高い肥料が使われるようになった。
- 水遣や灌漑による被害をふせて守法が広まった。
- 灌漑などが進められるようになったので、土地を深く耕すことが出来るようになり、それまでより肥料の量が少なくなった。

注一 石高とはかる単位であり、物1石は37.5kgを示す。
 注二 石高をばかると単位である。物1石は37.5kgを示す。
 注三 一石の重さは米の品種等により異なるが、ここでは、米の重さが500gであることを前提として、土地生産と関係の図式としている。

11) 1700年から1850年までの間に、耕地面積は約何倍になりましたか。

12) 資料1のグラフから分かることを次の文にまとめました。①～③にあてはまることは全部えまします。

1700年から1850年の間は、(A) ①も②も高くなってきているが、1700年から1850年の間は、(A) ①は増えているが、②はあまり変化していない。

13) 1700年から1850年までの間に米の生産量が増加した最も合理的な理由をまします。

■出題意図

米の生産量と耕地面積の変化を表したグラフから事実を正確に読み取り、読み取った事実をその他の資料とあわせて客観的に分析することができるかを見る問題である。

■設問別解答状況

問題番号		出題内容	観点設定			通過率			無解答率		
大問	小問		取 り 報 出 し	解 釈	熟 考 ・ 評 価	小5	中2	中一・小	小5	中2	中一・小
3	1	グラフの読み取りと計算	●			31.8	54.5	22.7	3.9	4.4	0.5
3	2	グラフの解釈		●		87.1	92.3	5.2	4.0	4.1	0.1
3	3	グラフの理由の記述		●	●	80.3	84.9	4.6	9.7	6.9	-2.8

■分析

グラフから耕地面積の変化について、具体的な数値を読み取って計算する問題(小問1)では、小5、中2ともに通過率がやや低く、小5は31.8%、中2は54.5%となっている。また、学年間の差が大きく、小5より中2が22.7ポイント上回っている。「耕地面積が何倍になったか」という算数的要素が含まれた問題である。

一方、小問1と同様にグラフを活用する問題であっても、グラフが示す内容を大まかに捉える問題(小問2)では小5、中2ともに通過率が約90%と高い。

米の生産量が増加した理由を書く記述問題(小問3)では、小5、中2ともに通過率は80%を上回っているが、小5の無解答率は約1割となっている。

1 下の地図は、たかしさんの家の近所の地図です。



2 駅からたかしさんの家までの道のりは、およそどれくらいですか。

3 ある日、たかしさんの家に友だちが遊びに来るようになりました。そこで、駅からたかしさんの家までの行き方を、次のように電話で説明しました。

駅を出てまっすぐ進んでください。
図書館のある角を左に曲がります。
小学校をこえて、次の角を右に曲がってください。
角を曲がって2番目が行くの家です。

ところが、友だちは、たかしさんの家ではなく、郵便局に歩いてしまいました。たかしさんの説明の「どこ」を、「どのように」変更するとたかしさんの家に着くことができますか。

■出題意図

地図を正確に読み取り、電話で道案内をすることを考えることで、「目的」と状況にあった「解決方法」を考え、具体的に表現することができるかを見る問題である。

■設問別解答状況

問題番号		出題内容	観点設定			通過率			無解答率		
大問	小問		取 り 報 出 し	解 釈	熟 考 ・ 評 価	小5	中2	中一・小	小5	中2	中一・小
4	1	地図の読み取り	●			86.8	94.4	7.6	1.4	1.4	0.0
4	2	地図を用いた道順の説明(どこ)			●	75.0	84.0	9.0	3.3	2.7	—0.6
4	2	地図を用いた道順の説明(どのように)			●	73.4	82.0	8.6	4.0	3.1	—0.9

■分析

小5は70%以上、中2は80%以上と高い通過率となっている。小5、中2ともに距離を地図から読み取る問題(小問1)よりも正しい道順を答える問題(小問2)の方が通過率が低い。各問題ともに中2の方が10ポイント近く上回っている。略地図から情報を読み取ることはできるが、それを正しく相手に説明する力が弱いようである。

3 「総合学力調査」における今後の「読解力」の出題方針

今後「総合学力調査」においては、各教科の中で文章や図表など多様な素材を使い、「情報の取り出し」「解釈」「熟考・評価」といった視点を取り入れて読解力を測定する問題を出題していく予定である。

「解釈」「熟考・評価」の問題では、主観的根拠ではなくテキストの内容に基づいた客観的根拠によって論理的に述べることができるかどうかが重要となる。その場合、ある程度まとまった文字数で解答を求める問題が必要であると考えられる。また、

ペーパーテストにおける解答方法においては、児童生徒にとって不慣れであると考えられるので、当面は設問文の工夫により、論理的な記述ができるよう誘導する方法も考えられる。

採点基準の作成においても、児童生徒の論理的思考の過程がより明確にわかるような基準設定が課題である。そのような問題としていくことで、論理的思考力や表現力の育成に貢献できればと考えている。

2 学習到達度調査の問題作成と実施結果

1 各教科問題の作成方針

今回の学習到達度調査は、各教科ごとに、基礎的な学力の定着状況と、応用する力や発展する力の状況を見ることができるよう設計している。各設問には、どの観点(評価の4観点である「関心・意欲・態度」「思考・判断」「技能・表現」「知識・理解」のうち「関心・意欲・態度」を除く3観点)の到達度を測る設問なのか、どの学習内容(領域)ごとの到達度を測る設問なのかを設定し、多面的に到達度を測ることができるよう設計している。(なお、今回の問題は本報告書の発刊後も実施する問題が含まれているため、出題内容については項目だけの紹介に止めていることをお断りしておく。)

今回の学習到達度調査は、各教科ごとに、基礎的な学力の定着状況と、応用する力や発展する力の状況を見ることができるよう設計している。各設問には、どの観点(評価の4観点である「関心・意欲・態度」「思考・判断」「技能・表現」「知識・理解」のうち「関心・意欲・態度」を除く3観点)の到達度を測る設問なのか、どの学習内容(領域)ごとの到達度を測る設問なのかを設定し、多面的に到達度を測ることができるよう設計している。(なお、今回の問題は本報告書の発刊後も実施する問題が含まれているため、出題内容については項目だけの紹介に止めていることをお断りしておく。)

2 実施結果

前述の「読解力」の測定をした同母体で国語、算数/数学について実施した。

※用語の説明については、「1. 2 実施結果」を参照

① 全体概要

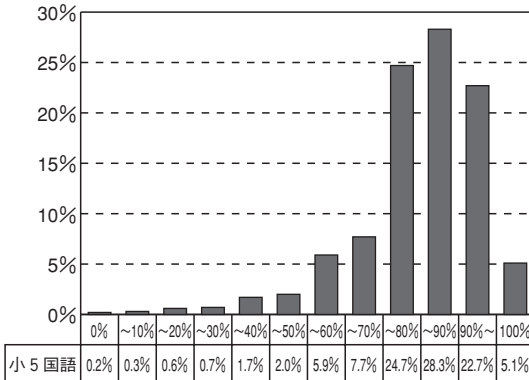
■平均到達度

	小5	中2
国語	80.1	72.1
算数/数学	69.2	60.3

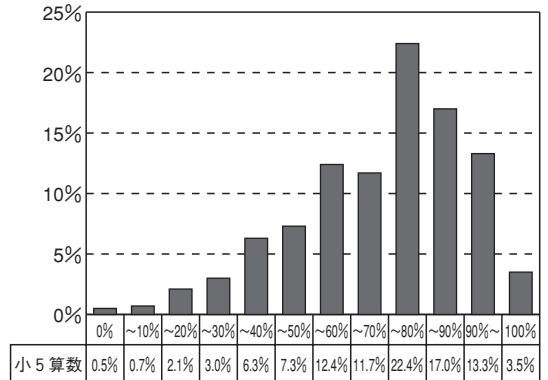
■度数分布

【小5】

国語

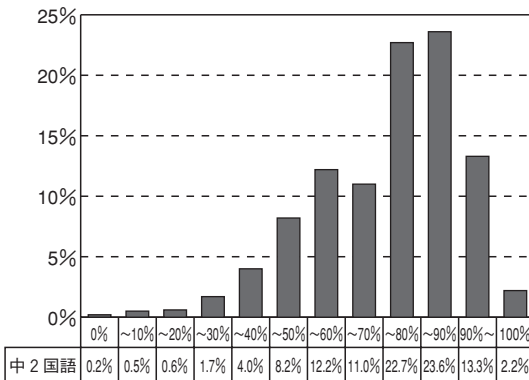


算数

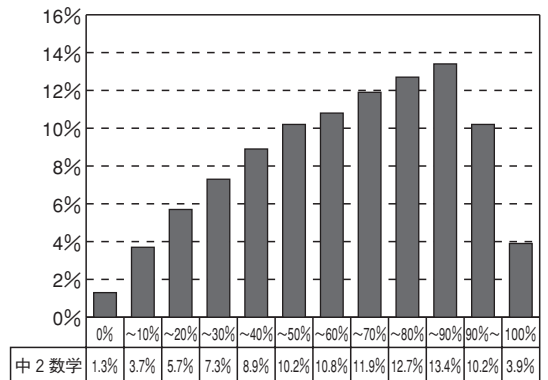


【中2】

国語



数学



② 学年別分析

【小5】国語

■平均到達度

教科全体		80.1
基礎		85.0
応用		69.8
観点	話す力・聞く力	70.0
	書く力	74.7
	読む力	85.9
	言語についての知識・理解・技能	79.3
領域	音声言語	70.0
	説明的文章	83.9
	文学的文章	87.8
	言語事項	78.6

■設問別解答状況

問題番号		出題内容	通過率	無解答率	基礎・応用	観点設定			領域設定				
						話す力・聞く力	書く力	読む力	知識・理解・技能	音声言語	説明的文章	文学的文章	言語事項
1	1	1	話の主題の聞き取り	78.3	2.9	応用	●			■			
1	1	2	話の中での具体例の役割	62.4	1.5	応用	●			■			
1	2		話の内容の聞き取り	90.6	1.1	基礎	●			■			
1	3		話し手の意図の聞き取り	48.7	1.0	応用	●			■			
2	1		指示された内容の抜き出し	92.8	2.9	基礎			●		■		
2	2		理由の記述	81.5	5.4	基礎		●	●		■		
2	3		適切な接続詞の選択	86.9	3.5	基礎			●	●	■		
2	4		文脈に即した内容の理解	77.6	1.7	応用			●		■		
2	5		文章を踏まえた短作文	80.6	5.8	応用		●	●		■		
3	1		文脈に即した内容の理解と記述	88.5	4.4	基礎		●	●			■	
3	2		人物の心情の理解	90.5	1.6	基礎			●			■	
3	3		人物の心情の理解	86.1	1.7	基礎			●			■	
3	4		人物の心情の変化の理解	87.8	1.9	応用			●			■	
3	5		文章を踏まえた人物への呼びかけ	86.2	6.2	応用		●	●			■	
4	1		漢字の読み	97.8	1.4	基礎				●			■
4	2		漢字の読み	95.8	1.4	基礎				●			■
4	3		漢字の読み	94.6	3.4	基礎				●			■
5	1		漢字の書き	82.6	5.8	基礎				●			■
5	2		漢字の書き	64.4	4.9	基礎				●			■
5	3		漢字の書き	66.0	10.4	基礎				●			■
6			同音異字同訓異字	76.9	3.1	基礎				●			■
7			漢字の成り立ち	76.0	2.0	基礎				●			■
8			仮名遣い	83.0	2.3	基礎				●			■
9			丁寧語	90.4	3.4	基礎				●			■
10			慣用句を用いた短作文	36.7	22.0	応用		●		●			■

■分析

教科全体の平均到達度は80.1%と高い結果となっている。

第1問(3)：話し手の意図を聞き取る問題では、通過率は48.7%で、他の設問と比較して低い。

第3問(5)：文学的文章を読んで、登場人物への呼びかけを書く問題では、通過率は86.2%と高く、無解答率は6.2%となっている。

第10問：慣用句を用いて短文を書く問題では、通過率が36.7%と全設問中最も低い。無解答率も22.0%と全設問中最も多い。

文章を読み解く力の基礎として、言語事項の確実な定着が鍵となる。

【小5】算数

■平均到達度

教科全体	69.2	
基礎	76.5	
応用	50.5	
観点	数学的な考え方	50.5
	数量や図形についての表現・処理	68.5
	数量や図形についての知識・理解	70.1
領域	数と計算	72.5
	量と測定	64.9
	図形	75.3
	数量関係	53.3

■分析

教科全体の平均到達度は69.2%となっている。

第2問(2)：割る数によって、割られる数と商の大小関係がどのようになるか答える問題では、通過率は29.7%と全設問中で最も低くなっている。

第5問(4)：複合図形の求積の問題では、通過率は41.4%で、無解答率も13.7%と高い。

第5問(6)2：ともなって変わる2つの数の関係を答える問題では、通過率は38.2%で、無解答率は26.5%と最も高い。

具体的数値を一般化して考えたり、空間把握をする問題の定着がやや低いようである。

■設問別解答状況

問題番号	出題内容	通過率	無解答率	基礎・応用	観点設定			領域設定				
					数学的な考え方	数量や図形についての表現・処理	数量や図形についての知識・理解	数と計算	量と測定	図形	数量関係	
1	1	小数×整数の計算	91.2	0.4	基礎	●		■				
1	2	小数×小数の計算	83.3	0.5	基礎	●		■				
1	3	小数÷小数の計算	81.2	3.4	基礎	●		■				
1	4	小数÷小数の計算(商は概数)	70.8	4.7	基礎	●		■				
1	5	同分母分数のひき算	92.8	2.0	基礎	●		■				
1	6	四則の混合した計算	80.9	1.9	基礎	●						■
2	1	奇数と偶数の分類	78.4	1.7	基礎		●	■				
2	2	わられる数と商の大小関係	29.7	6.6	基礎		●	■				
2	3	小数を相対的にとらえる	80.4	1.2	基礎		●	■				
2	4	小数を100分の1にした大きさ	68.8	5.4	基礎		●	■				
2	5	分数の大小	70.5	1.0	基礎		●	■				
3	1	平行四辺形の高さ	80.7	2.1	基礎		●			■		
3	2	三角形の面積	72.7	2.7	基礎	●				■		
4	1	垂直の位置関係	90.6	1.3	基礎		●					■
4	2	平行の位置関係	82.0	5.1	基礎		●					■
4	3	三角形の内角の和	80.0	4.6	基礎		●					■
4	4	四角形の内角	69.7	6.1	基礎	●						■
4	5	平行四辺形の作図	72.5	4.3	基礎		●					■
5	1	十進位取り記数法と小数の大小	53.2	5.6	応用	●		●	■			
5	2	文章題：小数倍の計算	69.9	4.5	応用	●	●		■			
5	3	文章題：四則の混合した計算と立式	54.1	19.3	応用	●	●					■
5	4	複合図形の面積	41.4	13.7	応用	●	●			■		
5	5	ひし形の性質の理解	57.0	9.6	応用	●		●				■
5	6	1	文章題：ともなって変わる2つの数	40.0	5.2	応用	●	●				■
5	6	2	文章題：ともなって変わる2つの数	38.2	26.5	応用	●	●				■

【中2】国語

■平均到達度

教科全体		72.1
基礎		77.0
応用		61.7
観点	話す力・聞く力	83.7
	書く力	63.8
	読む力	69.3
	言語についての知識・理解・技能	71.1
領域	音声言語	83.7
	説明的文章	59.8
	文学的文章	80.7
	言語事項	71.8

■分析

教科全体の平均到達度は72.1%となっている。

第4問(4)：説明的文章を読んで、内容をまとめる問題では、通過率が他の設問と比較して低く、無解答率が10%程度あった。

第5問(3)：文学的文章を読んで、登場人物の心情変化の理由を書く問題では、通過率は58.9%となっている。無解答率が12.5%であった。

中2では文章を読んで自分の考えを述べたり、内容をまとめる長文記述問題の無解答率が10～15%あり、小5と比較してやや多い。

■設問別解答状況

問題番号	出題内容	通過率	無解答率	基礎・応用	観点設定				領域設定				
					話す力・聞く力	書く力	読む力	言語についての知識・理解・技能	音声言語	説明的文章	文学的文章	言語事項	
1	1	話の主題の聞き取り	69.2	0.5	基礎	●				■			
1	2	スピーチの特徴の聞き取り	93.5	0.5	基礎	●				■			
1	3	共通する意見の聞き取り	88.4	0.6	応用	●				■			
2	1	漢字の読み	82.6	8.1	基礎				●				■
2	2	漢字の読み	97.3	1.0	基礎				●				■
2	3	漢字の読み	96.3	1.1	基礎				●				■
2	4	漢字の読み	79.6	2.2	基礎				●				■
2	5	漢字の書き	59.1	10.2	基礎				●				■
2	6	漢字の書き	51.8	8.2	基礎				●				■
2	7	漢字の書き	53.1	41.2	基礎				●				■
2	8	漢字の書き	64.9	14.9	基礎				●				■
3	1	1	品詞名の判断	76.1	3.2	基礎				●			■
3	1	2	品詞名の判断	74.1	3.2	基礎				●			■
3	2	1	動詞の活用の種類の判断	59.4	4.0	応用				●			■
3	2	2	動詞の活用の種類の判断	57.8	3.9	応用				●			■
3	3		修飾する文節の判断	75.0	1.2	基礎				●			■
3	4		述語の抽出	77.3	5.2	基礎				●			■
4	1		適切な接続詞の選択	61.3	1.7	基礎			●	●		■	
4	2		文脈に即した内容の理解	54.0	11.3	応用			●			■	
4	3		理由の記述	89.9	4.1	基礎		●	●			■	
4	4		文脈に即した内容の理解と記述	22.3	11.9	応用		●	●			■	
4	4		文脈に即した内容の理解と記述	65.0	14.0	応用		●	●			■	
4	5		文脈に即した内容の理解	66.3	2.3	応用			●			■	
5	1		文脈の様子を表す言葉の選択	82.0	1.2	基礎			●				■
5	2		人物の心情の理解	92.5	1.2	基礎			●				■
5	3		理由の記述	58.9	12.5	応用		●	●				■
5	4		人物の心情の理解	87.0	1.6	基礎			●				■
5	5		人物に対する感想の記述	83.0	14.0	応用		●	●				■

【中2】数学

■平均到達度

教科全体	60.3	
基礎	64.0	
応用	45.5	
観点	数学的な見方や考え方	44.9
	数学的な表現・処理	57.1
	数量、図形などについての知識・理解	74.8
領域	数と式	60.5
	図形	68.5
	数量関係	48.1

■分析

教科全体の平均到達度は60.3%となっている。

第6問(2)2：整数の論証の問題では、通過率が27.9%となっている。無解答率は49.6%と全設問中最も高く、約半数の生徒が何も手をつけていない状況となっている。基本的な数学的な知識に加え、相手を納得させる論理的な表現が求められる。

第6問(4)：回転体(円柱)の表面積を求める問題では、通過率が17.9%と全設問中最も低くなっている。円柱やその展開図を頭の中でイメージすることができたかどうかが鍵となる。

■設問別解答状況

問題番号	出題内容	通過率	無解答率	基礎・応用	観点設定			領域設定			
					数学的な見方や考え方	数学的な表現・処理	数量、図形などについての知識・理解	数と式	図形	数量関係	
1	1	多項式の次数	49.5	4.4	基礎			●	■		
1	2	連立方程式の解き方	76.1	3.4	基礎			●	■		
2	1	文字式の計算	77.5	3.1	基礎		●		■		
2	2	文字式の計算	68.2	4.4	基礎		●		■		
2	3	文字式の計算	77.1	6.3	基礎		●		■		
2	4	文字式の計算	68.4	3.7	基礎		●		■		
2	5	等式の変形	71.3	10.5	基礎		●		■		
2	6	連立方程式	67.8	12.7	基礎		●		■		
2	7	連立方程式	70.8	10.1	基礎		●		■		
3	1	多角形の外角の和	80.1	7.6	基礎			●		■	
3	2	三角形の合同条件	78.4	3.8	基礎			●		■	
3	3	垂直二等分線の作図方法	71.9	3.3	基礎			●		■	
4	1	三角形の内角と外角	87.8	2.2	基礎			●		■	
4	2	多角形の内角	80.7	4.2	基礎		●			■	
4	3	平行線の性質と角の大きさ	84.9	2.7	基礎		●			■	
4	4	正四角錐の体積	35.2	15.2	基礎		●			■	
4	5	三角形の合同の証明	65.6	20.3	基礎		●			■	
5	1	1次関数のグラフの傾きと切片	72.2	3.8	基礎			●			■
5	2	変化の割合と1点を通る直線の式	50.7	20.3	基礎		●				■
5	3	変化の割合と増加量	35.0	28.8	基礎		●				■
5	4	1次関数と表	37.3	27.7	基礎		●				■
5	5	変域を伴うグラフの作図	43.3	16.5	基礎		●				■
6	1	1 具体的事象と連立方程式	46.6	27.0	応用	●				■	
6	1	2 具体的事象と連立方程式	37.3	39.8	基礎		●			■	
6	2	1 整数の論証	48.1	26.3	基礎		●			■	
6	2	2 整数の論証	27.9	49.6	応用	●				■	
6	3	1 グラフと連立方程式	49.5	28.0	応用	●					■
6	3	2 グラフと連立方程式	48.5	26.4	応用		●				■
6	4	回転体の表面積	17.9	24.8	応用	●	●				■
6	5	さいころの展開図の作図	82.4	11.1	応用	●		●			■